**日本語タイトル**

― 副題 ―

著者姓　著者名（所属）＊掲載決定後記入

e-mail address　＊掲載決定後記入

**English Title:**

English Subtitle

FAMILY NAME First name　＊掲載決定後記入

キーワード：◯◯,　××，△△，▽▽，□□

要旨（和文・英文）＊掲載決定後記入

××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××（400字以内）

　　　　　　　　　　　　　　　　Abstract

××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××（200語以内）

**１．節見出し**

××××××××××××××××××××××××××××××××××××

* 1. **項見出し**

　××××××××××××××××××××××××××××××××××××

××××××

【注】

1）

【参考文献】

**『母語・継承語・バイリンガル教育（MHB）研究』**

**第12号への投稿論文の書式について**

**１．用紙・書式**

＊本文と参考文献ともに以下の通りとする。

用紙　　：B5判横書きワープロ原稿

余白　　：上下左右28mm

字詰め　：37字（字送り9.65pt）×31行（行送り18pt）

**２．タイトル、著者名、要旨、キーワード、所属**・最初の行にタイトル（明朝、14pt、太字、中央寄せ）

・副題がある場合は、ダッシュではさみ、14ptで普通字体で入れる（－副題ー）。
・1行あけて、英文タイトル（Times New Roman，12pt、太字、中央寄せ）

・副題がある場合は、11ptで普通字体で入れる。見出し語の大文字・小文字使用につ

いてはAPA (The American Psychological Association ) のPublication Manual 第6版に準拠すること。

* 1行あけて、キーワード（５語まで）をMS明朝・10ptで左寄せで入れる。
* 著者名と所属、メールアドレス、要旨(和文・英文)は採用が決まってから記入する。
* 著者名は、漢字表記の場合は姓名の間に半角スペース（山田 花子）、カタカナ表記の場合は、間にナカグロ（ジョン・スミス）、英語表記は、姓を大文字、名を頭文字のみ大文字で表記し、間に半角スペース（YAMADA Hanako）
* 所属については、大学院生の場合は身分を明記（◯◯大学大学院 博士課程）
* 要旨は、キーワードの下１行あけて、和文、MS明朝、10pt、400字以内、英文、Times New Roman、10pt、200語以内で書く。

**３．見出し・本文**

フォント：MS明朝10pt（英数字はTimes New Roman 10pt）

節見出し：１．全角数字＋全角ピリオド＋見出し（太字）。

　　　　　1行あけて本文を書き始める。

項見出し：1.1　半角数字＋半角ピリオド＋半角数字＋半角スペース＋見出し（太字）。

　　　　　1行あけずに書き始める。

　　　　　項見出しの前も１行あける。

句読点 : 句点は「。」、読点は「、」。

 カッコ ：（ ）「」『』ともに全角使用。

注 ：本文中は「書式」→「フォント」→文字飾り「上付き」を使用し、右肩に

　　 数字パーレンで示す。稿末注とし、本文の直後に入れる。 フォントは9pt.

　本文中の文献表示：

著者名・刊行年を本文で表示する場合

 山田・田中（1990）、Dressler and Kamil（2006）、Bialystok, Shenfield and Codd（2000）

　　　著者名・刊行年を本文カッコ内で表示する場合

 （山田・田中, 1990）、（山田, 2000; 斉藤, 2002）（Cummins, 1981, 1991）、

 （Dressler & Kamil, 2006）など

**４．図表**

表1　タイトル（ 表の上、中央寄せ、ゴシック、9pt）

|  |
| --- |
| ゴシック・Times New Roman 9pt以上9pt以上 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

　図1　タイトル（ 図の下、中央寄せ、ゴシック、9pt）

 **５．参考文献**

・日本語文献（50音順）の次に欧文文献（アルファベット順）で記載

* フォントは9pt.
* 1点の文献情報が複数行に渡る際には２行目以降は半角5文字下げる

＜日本語文献表記＞

* 著書の場合：著者名（1998）『著書名』出版社名

　　＊カッコは全て全角

* 学術誌掲載論文の場合：著者名（1998）「論文名」『文献名』号数, ××-◯◯.

　　＊号数の後にコンマ、ページ数の後にピリオド）

* 著書掲載論文の場合：論文執筆者名（1998）「論文名」著者名『著書名』（pp.××-◯◯）出版社名

　　＊著書名の後のカッコ中に「pp.」を用いてページ数記載、最後にピリオドなし

　　　共著者の場合は、ナカグロ「・」で併記

＜欧文文献表記＞

* 著書の場合：

 Baker, C. (2011). *Foundations of bilingual education and bilingualism (5th ed.)*.

 Clevedon, UK: Multilingual Matters.

　　＊著者名（姓の後にコンマ、名イニシャル表記の後にピリオド）、年号（半角

　　　カッコの後にピリオド）、著書名（イタリック体表記の後ピリオド）、

　　　出版地（後にダブルコロン）出版社名（最後にピリオド）

* ジャーナル掲載論文の場合：

Creese, A. & Ackledge, A. (2010). Translanguaging in the bilingual classroom: A pedagogy for learning and teaching? *The Modern Language Journal, 94,*(1), 103-115.

　　＊年号の後、論文名（後にピリオド）、ジャーナル名（*イタリック体表記＋コン*

*マ＋巻＋コンマ*＋(号)＋コンマ）、ページ数（最後にピリオド）

* 著書掲載論文の場合：

Cummins, J. (2009). Fundamental psychological and sociological principles underlying educational success for linguistic minority students. In T. Skutnabb-Kangas, R.Phillipson, A.K. Mohanty, & M. Panda (Eds.), *Social justice through multilingual education* (pp. 19-35). Bristol, UK: Multilingual Matters.

　　＊ページ数は著書名の後に挿入し、（pp.◯◯–◯◯）．とする。その後に出版地、出版社名を表記。

**６．その他**

* 執筆者が特定されるような情報（謝辞、助成金情報等）は投稿時には記載しないこと